

教育に関する事務の点検・評価報告書

(令和元年度実施事業分)

仙南地域広域行政事務組合教育委員会

基本目標

1 視聴覚教材センター視聴覚教育計画

圏域住民一人ひとりが、心豊かに生きがいを感じ、絆づくりと互助・共助による活力があるコミュニティ形成を目指し、生涯を通じて自立・協働・創造に向けた学習活動を展開する中で、視聴覚教材センター（あずなびあ）では、各世代が様々な学習ニーズに応じて活用できる視聴覚教材・機材を整備し、さらに、地域に根ざしたテーマに基づく視聴覚教材制作を進めて、郷土愛、創造力豊かな人材育成を図ることで、圏域住民一人ひとりの生涯学習活動の更なる充実をめざす。

また、情報教育や英語教育が必要とされる今、圏域住民の様々な学習ニーズに応えるため、事業内容の見直しを図るとともに、今後の視聴覚教材センターの在り方についても調査・研究を行う。

2 仙南広域圏の振興発展に資する事業計画

本事業は、子どもたちが興味・関心を持つことのできる事柄を通じて、ことさらに自治体の枠を越えて、圏域の将来の文化活動を担う人材を育成することを目標とする。また、次代を担う子どもたちと地域の文化を『はぐくむ』ことをテーマとした事業を実施する。

3 仙南芸術文化センター（えずこホール）事業計画

仙南芸術文化センター（えずこホール）運営の基本コンセプトは、住民参加型文化創造施設。社会包摂の考え方を基本に、圏域住民の皆さんがホールを拠点にいきいきとアート活動を展開し、手作り舞台を制作する。また、圏域内のさまざまな機関、団体、人と、連携、協働しながらアウトリーチ活動を展開することにより、アートによる人と地域の活性化の循環を促進し、仙南圏域をいきいきさせていくことを目指す。鑑賞事業については、各分野から質の高いものを招聘し、優れた舞台表現にふれていただくと同時に、ワークショップ等、住民の皆さんが気軽に参加体験できるプログラムを併せて開催。えずこホールが世界の窓となり広くアートを参加体験していただく機会として提供する。

令和元年度は、例年同様、創造発信事業、参加体験事業、鑑賞事業を圏域内すべての住民を対象に、継続的に展開することにより、新しい時代の新しいアートによる創造的な人と地域づくりを推進していく。

I 事務の点検・評価について

1. 点検評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限の属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表することとされています。また、点検評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験者を有する者の知見の活用を図ることとなっています。

このため、教育委員会では、教育行政の効果的な推進を図るため、「教育に関する事務の点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

2. 点検評価の対象

令和元年度に教育委員会が定める「基本目標」に掲げた事務事業を対象としました。

3. 点検評価の方法

点検評価は、事務事業の必要性、効率性、有効性、公平性の観点から自己評価を行いました。また、客観性を確保するため、教育行政点検評価員会議を開催し、教育行政点検評価員として委嘱した外部の学識経験者（委嘱先については次頁参照）より意見をいただきました。

4. 結果の取り扱い

この点検評価の結果については、課題や問題の解決を行うと同時に事務事業の見直しについて検討することとなります。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 教育行政点検評価員会議について

1. 開催日時・場所

日 時：令和2年9月14日（月）10時00分～12時20分

場 所：仙南地域広域行政事務組合総合庁舎3階 研修室

2. 会議次第

1. 開会
2. 委嘱状の交付
3. あいさつ（当組合教育次長より）
4. 教育に関する事務の点検・評価について（令和元年度実施事業分）
5. 閉会

3. 教育行政点検評価員の略歴

○大脇 賢次 氏

性 別	男	年 齢	64歳	在住市町	柴田町
加盟団体等					
主要経歴	愛知県豊山町立豊山中学校講師 他4校の講師				
	宮城県柴田郡村田町立村田第一中学校教諭 他7校歴任				
	大河原自作視聴覚教材グループ会長				
	全国自作視聴覚教材コンクール入選（4回）				
	文部省奨励研究（平成4年・一年間）				
	宮城県視聴覚教育功労者表彰（平成16年）				
	柴田町学び支援コーディネーター（令和元年度～2年度）				

○八巻 寿文 氏

性 別	男	年 齢	64歳	在住市町	仙台市
加盟団体等	日本照明家協会				
主要経歴	舞台照明家、美術家				
	公益財団法人 仙台市市民文化事業団 職員				
	せんだい演劇工房 10-BOX 二代目工房長				
	せんだい3.11メモリアル交流館 元館長				
	日本照明家協会奨励賞				
	宮城県芸術選奨				
	文化庁長官表彰文化芸術創造都市部門				

Ⅲ 点検・評価の結果

1. 視聴覚教材・機材の整備及び貸出事業

事業目的	視聴覚教材・機材の適切に整備し、社会教育及び学校教育における学習活動場面での効果的な利用促進を図る。
事業名	① 視聴覚教材・機材の貸出 ② 学校教育・社会教育専門部会

成 果	課 題																			
<p>① 視聴覚教材・機材の貸出</p> <p>視聴覚教材については、VHS 教材のみ利用回数・視聴者数が増となったものの、教材全体では減少している。</p> <p>視聴覚機材については、ほとんどの機材において利用回数が微増となった。なお、液晶プロジェクターの利用回数は全体の 39.1%を占めている。</p> <p>○教材利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教材種別</th> <th>利用回数</th> <th>視聴者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DVD</td> <td>718 回(947 回)</td> <td>20,968 名(25,994 名)</td> </tr> <tr> <td>VHS</td> <td>45 回(43 回)</td> <td>853 名(598 名)</td> </tr> <tr> <td>16 ミリ</td> <td>21 回(65 回)</td> <td>936 名(2,547 名)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>784 回(1,055 回)</td> <td>22,757 名(29,139 名)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○機材利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用回数</th> <th>うちプロジェクター利用回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>864 回(846 回)</td> <td>338 回(321 回)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ () 内の数字は、前年度実績</p>	教材種別	利用回数	視聴者数	DVD	718 回(947 回)	20,968 名(25,994 名)	VHS	45 回(43 回)	853 名(598 名)	16 ミリ	21 回(65 回)	936 名(2,547 名)	合 計	784 回(1,055 回)	22,757 名(29,139 名)	利用回数	うちプロジェクター利用回数	864 回(846 回)	338 回(321 回)	<p>現在保有している視聴覚教材・機材の利用促進に向けて、適した時期に適した情報を提供できるよう広報活動には引き続き力を入れていきたい。ただし、DVD、VHS、16 ミリフィルムといった、これまで当教材センターの主力を担ってきたメディアについては、近年の教育を取り巻く環境の変化もあり、今後は利用が先細りしていくものと考えられる。また、機材については、スクリーンやプロジェクター（行事・式典用として、毎年一定の需要はある）を漫然と提供することに終始している感が否めない。</p> <p>これらのことより、既存の形式にとどまることなく、時代のニーズを的確に捉え、提案型の事業へと転換を進めなければ、いずれ当教材センターの存在意義が問われる事態になりかねない。</p> <p>その初手として、年度末に GoPro（アクションカメラ）、iPad といった機材やプログラミング教育用の教材 Sphero を整備。今後、これらの PR とともに、新規主催講座等も企画・開催していく。併せて、圏域住民にとって真に有益なセンターを目指し、最新のニーズ等に関する調査・検討を進めていきたい。</p>
教材種別	利用回数	視聴者数																		
DVD	718 回(947 回)	20,968 名(25,994 名)																		
VHS	45 回(43 回)	853 名(598 名)																		
16 ミリ	21 回(65 回)	936 名(2,547 名)																		
合 計	784 回(1,055 回)	22,757 名(29,139 名)																		
利用回数	うちプロジェクター利用回数																			
864 回(846 回)	338 回(321 回)																			

成 果	課 題										
<p>② 学校教育・社会教育専門部会</p> <p>視聴覚教材選定を行うにあたり、以下の日程で各教育専門部会を開催した。</p> <p>・学校教育・社会教育専門部会（36名）</p> <p style="text-align: right;">令和2年2月19日（水）</p> <p>○令和元年度購入教材</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>社会</th> <th>理科</th> <th>その他</th> <th>A領域</th> <th>B領域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2巻 (4巻)</td> <td style="text-align: center;">8巻 (2巻)</td> <td style="text-align: center;">7巻 (4巻)</td> <td style="text-align: center;">7巻 (13巻)</td> <td style="text-align: center;">4巻 (6巻)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※A領域は幼児・少年・青年向け、B領域は成人・婦人・高齢者向け。（ ）内の数字は、前年度実績</p>	社会	理科	その他	A領域	B領域	2巻 (4巻)	8巻 (2巻)	7巻 (4巻)	7巻 (13巻)	4巻 (6巻)	<p>令和元年度に購入した視聴覚教材の同年度中の利用は、28巻中1巻のみであった。専門部員の方々には参考として、教材のカタログ（主にDVD）を事前に送付しているが、多くの部員が「掲載されているものの中から選定する」といった先入観に囚われる形となっており、各々が抱えている真の現場のニーズを反映できていないが故に、こういった事態が生じたものと考えられる。</p> <p>今後は、カタログやメディア形式にとらわれず、各部員が日々の業務の中で「これがあつたらいいな」と思うものを優先的に提案していただくよう、働きかけていきたい（当然ながら、利用促進のための広報活動にも見直しは必要）。</p>
社会	理科	その他	A領域	B領域							
2巻 (4巻)	8巻 (2巻)	7巻 (4巻)	7巻 (13巻)	4巻 (6巻)							

有識者による意見・評価	意見に対する対応等
<p>○以前は、視聴覚主任者会議が年に1回開催され、視聴覚教材センターと主任の先生が直々に情報交換することができた。</p> <p>今後は、小学校教育研究会、中学校教育研究会の中に入り込んでいくことも検討できないか。社会科部会、理科部会、視聴覚科部会などに教材・機材を持ち込んで、アピールする場を作っていくてはどうか。</p> <p>○カタログだけでなく、実際に現場を訪問し、今後ICTに向かうからこそ、顔と顔とが見えることが、学校教育では特に必要だと思われる。</p>	<p>○2市7町の視聴覚教育指導員とも連携を行い、ご指摘のあった各研究会への参加をはじめ、担当の先生等に動いていただけるよう検討をしていきたい。</p>

2. 各種講座及び学習機会提供事業

事業目的	新しい知識や技術の習得を目指し、研修内容の充実を図るとともに、学習ニーズの拡大に対応した学習活動を支援する。
事業名	① シニアにやさしいかんたんビデオ講座（定員各 8 名） ② 出前講座 ③ 出前事業（おでかけ！あずなびあ） ④ あずなびあまつり（視聴覚教材センターフェスティバル）

成 果	課 題																																	
<p>① シニアにやさしいかんたんビデオ講座</p> <p>仙南圏域の 50 歳以上の方を対象に実施。Windows ムービーメーカーを使用した基礎的なパソコンの編集方法と、デジタルカメラの操作や自作視聴覚教材に関する話を聞く内容を併せて開催し、複数の画像等を組み合わせた動画制作の方法を習得する。(定員 8 名、全 6 回コース)</p> <p>A 日程</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>受講者数</th> <th>受講率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5 月 13 日(月)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">12 名 (17 名)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">100% (100%)</td> </tr> <tr> <td>5 月 20 日(月)</td> </tr> <tr> <td>5 月 27 日(月)</td> </tr> <tr> <td>6 月 3 日(月)</td> </tr> <tr> <td>6 月 10 日(月)</td> </tr> <tr> <td>6 月 17 日(月)</td> </tr> </tbody> </table> <p>B 日程</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>受講者数</th> <th>受講率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7 月 22 日(月)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">16 名 (21 名)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">100% (100%)</td> </tr> <tr> <td>7 月 29 日(月)</td> </tr> <tr> <td>8 月 5 日(月)</td> </tr> <tr> <td>8 月 19 日(月)</td> </tr> <tr> <td>8 月 26 日(月)</td> </tr> <tr> <td>9 月 2 日(月)</td> </tr> </tbody> </table> <p>C 日程</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>受講者数</th> <th>受講率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10 月 21 日(月)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">0 名 (0 名)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">0% (0%)</td> </tr> <tr> <td>10 月 28 日(月)</td> </tr> <tr> <td>11 月 11 日(月)</td> </tr> <tr> <td>11 月 25 日(月)</td> </tr> <tr> <td>12 月 2 日(月)</td> </tr> <tr> <td>12 月 9 日(月)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※受講率：受講者数／定員×100。定員を超えた分については 100%とした。</p> <p>※（ ）内の数字は、前年度実績</p>	開催日	受講者数	受講率	5 月 13 日(月)	12 名 (17 名)	100% (100%)	5 月 20 日(月)	5 月 27 日(月)	6 月 3 日(月)	6 月 10 日(月)	6 月 17 日(月)	開催日	受講者数	受講率	7 月 22 日(月)	16 名 (21 名)	100% (100%)	7 月 29 日(月)	8 月 5 日(月)	8 月 19 日(月)	8 月 26 日(月)	9 月 2 日(月)	開催日	受講者数	受講率	10 月 21 日(月)	0 名 (0 名)	0% (0%)	10 月 28 日(月)	11 月 11 日(月)	11 月 25 日(月)	12 月 2 日(月)	12 月 9 日(月)	<p>A 日程、B 日程ともに受講率は 100%を達成し、これを機にパソコンを使って他にも色々やってみたくなくなった、という声も聞かれるなど、受講者の満足度も高かった。しかしながら、C 日程は事前申し込みが数件あったものの、先方の都合などにより最終的には受講者ゼロで、未開催となった。</p> <p>今後は広報活動や仙南 2 市 7 町の視聴覚教育指導員との連携などにより、講座の周知徹底を図り、受講者の増加につなげていきたい。</p> <p>さらに、これまでの受講者に自作教材の制作及び仙南ふるさと C-M グランプリへの作品出品等について働きかけることや、本ビデオ講座の講師として招くことなども検討していきたい(自分の知識・技術について再確認できるうえ、受講者により近い目線で指導できるのではないか)。</p> <p>また、PC よりも身近に普及しているスマートフォンやタブレット端末による講座についても検討を行っていく。</p>
開催日	受講者数	受講率																																
5 月 13 日(月)	12 名 (17 名)	100% (100%)																																
5 月 20 日(月)																																		
5 月 27 日(月)																																		
6 月 3 日(月)																																		
6 月 10 日(月)																																		
6 月 17 日(月)																																		
開催日	受講者数	受講率																																
7 月 22 日(月)	16 名 (21 名)	100% (100%)																																
7 月 29 日(月)																																		
8 月 5 日(月)																																		
8 月 19 日(月)																																		
8 月 26 日(月)																																		
9 月 2 日(月)																																		
開催日	受講者数	受講率																																
10 月 21 日(月)	0 名 (0 名)	0% (0%)																																
10 月 28 日(月)																																		
11 月 11 日(月)																																		
11 月 25 日(月)																																		
12 月 2 日(月)																																		
12 月 9 日(月)																																		

成 果	課 題																																																
<p>② 出前講座 ※講師はセンター職員が担当 申込者の要望に合わせて講座等を展開した。</p> <p>○パソコンを使った写真・ビデオ編集講座 ※Windowsムービーメーカーを使用</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会 場</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月27日(火)</td> <td rowspan="2">キッズフィールド おおがわら園</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>8月28日(水)</td> <td>4名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○液晶プロジェクター講座</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会 場</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12月19日(木)</td> <td>柴田町図書館</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○Word講座・Excel講座</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会 場</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1月20日(月)</td> <td rowspan="2">角田光の子保育園</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>2月12日(水)</td> <td>15名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ムービーメーカー・パワーポイント講座</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会 場</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1月28日(火)</td> <td rowspan="2">角田光の子保育園</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>2月26日(水)</td> <td>15名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○プレゼンテーション講座</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会 場</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3月2日(月)</td> <td>丸森まちづくりセンター</td> <td>4名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○16ミリ映写機操作技術講習会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会 場</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月17日(水)</td> <td>蔵王町ふるさと文化会館</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>11月11日(月)</td> <td>川崎町公民館</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">10件開催 (7件開催)</td> <td style="text-align: center;">84名 (51名)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ () 内の数字は、前年度実績</p>	開催日	会 場	受講者数	8月27日(火)	キッズフィールド おおがわら園	4名	8月28日(水)	4名	開催日	会 場	受講者数	12月19日(木)	柴田町図書館	3名	開催日	会 場	受講者数	1月20日(月)	角田光の子保育園	15名	2月12日(水)	15名	開催日	会 場	受講者数	1月28日(火)	角田光の子保育園	15名	2月26日(水)	15名	開催日	会 場	受講者数	3月2日(月)	丸森まちづくりセンター	4名	開催日	会 場	受講者数	7月17日(水)	蔵王町ふるさと文化会館	6名	11月11日(月)	川崎町公民館	3名	合 計	10件開催 (7件開催)	84名 (51名)	<p>圏域住民の細かな要望にも応えられるよう、出前講座を実施した。講座全体としては、講座件数 10件、受講者数が 84名であった。本年度は 5～6 月に幼稚園、保育園、福祉施設を中心に視聴覚教材センター事業の PR 及びニーズの聞き取り等を目的として現場訪問を実施（成果等は後述）。それが奏功し、講座の半数以上がそういった施設より依頼されたものであった。今後も現場訪問及び広報活動等により、出前講座の利用拡大及び定着を目指していきたい。また、iPad 等の新規機材を使った講座も企画・開催していく。さらに、仙南 2 市 7 町で開催している文化財や地域の歴史をテーマにした各種講座と絡め、地域映像の保存活動に繋げていけるよう努めていきたい。</p>
開催日	会 場	受講者数																																															
8月27日(火)	キッズフィールド おおがわら園	4名																																															
8月28日(水)		4名																																															
開催日	会 場	受講者数																																															
12月19日(木)	柴田町図書館	3名																																															
開催日	会 場	受講者数																																															
1月20日(月)	角田光の子保育園	15名																																															
2月12日(水)		15名																																															
開催日	会 場	受講者数																																															
1月28日(火)	角田光の子保育園	15名																																															
2月26日(水)		15名																																															
開催日	会 場	受講者数																																															
3月2日(月)	丸森まちづくりセンター	4名																																															
開催日	会 場	受講者数																																															
7月17日(水)	蔵王町ふるさと文化会館	6名																																															
11月11日(月)	川崎町公民館	3名																																															
合 計	10件開催 (7件開催)	84名 (51名)																																															

成 果			課 題																																	
<p>③ 出前事業（おでかけ！あずなびあ）※講師はセンター職員が担当</p> <p>申込者の要望に合わせて事業を展開した。</p> <p>○消防訓練（DVD 上映会、水消火器体験）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会 場</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月19日（金）</td> <td>キッズフィールド おおがわら園</td> <td>25名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○さわやか学校たなばた会（DVD 上映）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会 場</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月28日（日）</td> <td>白石市小下倉集会</td> <td>25名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○キッズフィールドおおがわらクリスマス会（パネルシアター実演）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会 場</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12月7日（土）</td> <td>キッズフィールド フォルテ園</td> <td>35名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○さわやか学校クリスマス会（DVD 上映）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会 場</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12月22日（日）</td> <td>白石市小下倉集会所</td> <td>25名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ビデオ撮影・編集体験</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会 場</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3月25日（水）</td> <td>角田市北郷児童センター</td> <td>12名</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>合 計</td> <td>5件開催 (1件開催)</td> <td>122名 (69名)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（ ）内の数字は、前年度実績</p>			開催日	会 場	受講者数	7月19日（金）	キッズフィールド おおがわら園	25名	開催日	会 場	受講者数	7月28日（日）	白石市小下倉集会	25名	開催日	会 場	受講者数	12月7日（土）	キッズフィールド フォルテ園	35名	開催日	会 場	受講者数	12月22日（日）	白石市小下倉集会所	25名	開催日	会 場	受講者数	3月25日（水）	角田市北郷児童センター	12名	合 計	5件開催 (1件開催)	122名 (69名)	<p>本事業は各教育機関等と連携し、行事・イベント等の1プログラムとして当視聴覚教材センターの機材・教材に触れてもらうものであるが、本年度は出前講座同様、現場訪問を実施した施設からの依頼が多く見られた。</p> <p>今後も協働教育の一環として、本事業の定着・拡大に努めていきたい。</p>
開催日	会 場	受講者数																																		
7月19日（金）	キッズフィールド おおがわら園	25名																																		
開催日	会 場	受講者数																																		
7月28日（日）	白石市小下倉集会	25名																																		
開催日	会 場	受講者数																																		
12月7日（土）	キッズフィールド フォルテ園	35名																																		
開催日	会 場	受講者数																																		
12月22日（日）	白石市小下倉集会所	25名																																		
開催日	会 場	受講者数																																		
3月25日（水）	角田市北郷児童センター	12名																																		
合 計	5件開催 (1件開催)	122名 (69名)																																		

成 果	課 題						
<p>④ あずなびあまつり（視聴覚教材センターフェスティバル） ～えぞこ・はねっこ全館かえっこ～</p> <p>視聴覚教材センターの認知度、利用率の向上を目的として開催。平成 27 年度からは、かえっこプログラムを取り入れたことで参加者数も増加し、より多くの方々に視聴覚機材・教材の良さをアピールすることができている。</p> <p>内容については以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だれでもデザイナー（各々が描いた服の絵をプロジェクターで投影することで、まるで自分が着ているかのように見える。会議室） ・だれでもプログラマー（プログラミング学習ソフト、スクラッチの体験。大河原町総合体育館研修室） ・紙しばいの展示や読み聞かせ（ホワイエ） ・太陽望遠鏡（玄関前） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">開催日</th> <th style="text-align: center;">会 場</th> <th style="text-align: center;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">9 月 16 日(月・祝)</td> <td style="text-align: center;">仙南芸術文化センター 大河原町総合体育館</td> <td style="text-align: center;">2,227 名 (2,517 名)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（ ）内の数字は、前年度実績</p>	開催日	会 場	参加者数	9 月 16 日(月・祝)	仙南芸術文化センター 大河原町総合体育館	2,227 名 (2,517 名)	<p>本年度は視聴覚教育指導員と連携して、「だれでもデザイナー」、「だれでもプログラマー」という 2 ブースを運営した。それぞれ来場者にも好評をいただいたが、後日の会議で意見を伺ったところ、指導員の方々もとても楽しんでブースを回せたとのこと。今回も企画の段階から主体的に深く関わっていただいたが、それにより自分たちのやりたいことを、自分たちのやり方でやるといったことを突き詰められた（数年前までは、単なる「お手伝い」の色が濃かった）ゆえに、楽しく、そして大きな達成感を味わうことができたのではないかと思われる。今後も指導員の方々と「みんな」が楽しめるプログラム作りを展開していきたい。</p>
開催日	会 場	参加者数					
9 月 16 日(月・祝)	仙南芸術文化センター 大河原町総合体育館	2,227 名 (2,517 名)					

有識者による意見・評価	意見に対する対応等
<p>○令和元年度の課題を踏まえ、2 年度は iPad に関する講座をすでに数件開催していると事務局から補足があった。受講者は七ヶ宿町の高齢者とのことだが、過疎化が進む現在ではとても良いと思う。生活に密着した、生活支援のようなこともミッションの中にあれば良いと思われる。</p>	<p>○七ヶ宿町の社会福祉協議会が主催しているもので、高齢化が進んでいる中、近隣の人とも離れている状況にあって、Zoom 等のアプリでコミュニケーションを図ることを始め、生活の中で役立つ内容で進めている。今後は他の市町でも開催できるよう、周知をしていきたい。</p>

3. 地域学習教材制作の促進と保存事業

事業目的	地域素材を生かした自作視聴覚教材制作の支援と利用促進を図り、地域学習の教育的な効果を高めるとともに、自作視聴覚教材のデジタル化と保存に努める。
事業名	① 仙南地区自作視聴覚教材発表会 ② 地域映像の保存と自作視聴覚教材制作への支援 ③ 自作視聴覚教材のデジタル化

成 果	課 題								
<p>① 仙南ふるさとC-Mグランプリ（仙南地区自作視聴覚教材発表会）</p> <p>自作視聴覚教材の制作技術の向上、教材制作の奨励及び自作視聴覚教材の整備充実を図るため、仙南地区自作視聴覚教材発表会を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>作品数</th> <th>参加者数</th> <th>一般視聴者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2月22日(土)</td> <td>7作品 (8作品)</td> <td>5名 (15名)</td> <td>14名 (24名)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○全国自作視聴覚教材コンクール（令和3年8月開催※） 7作品推薦。</p> <p>※新型コロナウイルスの影響で令和2年8月の全国コンクールは中止。今回の7作品は令和3年8月開催（予定）の回へと持ち越しとなる。</p> <p>○せんだいメディアテーク学芸員 小川直人 氏によるメディアに関するワークショップ（トークセッション）を同日に開催した。</p> <p>※（ ）内の数字は、前年度実績</p>	開催日	作品数	参加者数	一般視聴者数	2月22日(土)	7作品 (8作品)	5名 (15名)	14名 (24名)	<p>今回も特色ある7作品が出品され、いずれも仙南地域の歴史、文化、施設、伝統行事、民俗芸能などを多くの方々に知っていただくのに最適で、ぜひ後世に伝えるべきものであるとの印象を受けた。しかし、今回は新規制作者による出品は無く、全体的に制作者の高齢化も進んでいる。これからは作品の応募増加と周知徹底に向けて、視聴覚教育指導員と連携を密にすることや、各種主催講座の参加者に対して、作品制作の働きかけを積極的に行うなど、これまで以上のアプローチをかけていきたい。また、今回はメディアに関するワークショップを同日開催し、映像作成のポイント等について意見が交わされ、今後の各々の活動に役立つものになったと思われる。次回以降も単なる作品の発表会にとどまることなく、より多くの一般視聴者にもご来場いただけるような企画を考えていきたい。</p>
開催日	作品数	参加者数	一般視聴者数						
2月22日(土)	7作品 (8作品)	5名 (15名)	14名 (24名)						

成 果	課 題
<p>② 地域映像の保存と自作視聴覚教材制作への支援</p> <p>地域素材を映像に記録・保存したり、地域映像を制作したりする意欲のある団体や個人に対して、センター職員が助言や編集等の支援をし、地域映像の保存を図るとともに、自作視聴覚教材制作への支援を行うもの。</p>	<p>主催講座等の際に、潜在的な制作者の掘り起こしに向け、周知を図っていききたい。また、視聴覚教育指導員を通じて、仙南2市7町の文化財や地域の歴史をテーマとした展示会の場で、関連する自作教材を上映させていただく等、利活用の促進にも努めていききたい。</p>
<p>③ 自作視聴覚教材のデジタル化</p> <p>当教材センターでは数多くの自作視聴覚教材を保有しているが、そのうちのアナログ教材については、デジタル化を行っている。</p>	<p>ふるさと C-M グランプリに出品のあった作品のデジタル化に努めたい。</p>

有識者による意見・評価	意見に対する対応等
<p>○今の学習指導要領の中に、教科書以外のものを使わなければならない、使ったほうが良いという文言がある。</p> <p>例えば小学4年生の社会科に「郷土を開く」というものがある。教科書は全国共通で使われていて、地域性のあるものは載っていない。その教材はどこにあるのかということだが、地域映像等の教材は以前、学校側でも持っていた。しかし、現在は紛失している場合が多い。その原本は視聴覚教材センターにあるため、実際のところ、学校側はもっとセンターを頼るべきと思われる。</p>	<p>○「1. 視聴覚教材・機材の整備及び貸出事業」と同様、ご指摘のあった各研究会への参加を始め、担当の先生に動いていただけるような策を、視聴覚教育指導員とともに検討していききたい。</p>

4. 各種関係団体との連携事業

事業目的	学校教育及び社会教育関係、各地域の団体等と連絡提携を密にし、視聴覚教材センターとしての機能の充実と生涯学習体制の推進を図る。また、その学習要求に応えられるように情報提供の充実に努める。
事業名	① 諸会議関係 (1) 視聴覚教育指導員会議 (2) 学校教育・社会教育専門部会 (3) 社会教育等主管課長会議 ② 広報活動 ③ 現場訪問事業

成 果	課 題												
<p>① 諸会議関係</p> <p>(1) 視聴覚教育指導員会議</p> <p>構成市町の生涯学習課、公民館職員 9 名を指導員として委嘱し、視聴覚教材センターの PR 活動や、教材利用の促進を図った。任期は 2 年となっている。</p> <p>○年 5 回開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開 催 日</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 月 18 日(木)</td> <td>事業計画等</td> </tr> <tr> <td>6 月 18 日(火)</td> <td>あずなびあまつり等</td> </tr> <tr> <td>8 月 22 日(木)</td> <td>あずなびあまつり (最終調整) 等</td> </tr> <tr> <td>11 月 6 日(水)</td> <td>点検・評価、事業計画案等</td> </tr> <tr> <td>2 月 19 日(水)</td> <td>事業計画案 (最終調整) 等</td> </tr> </tbody> </table>	開 催 日	内 容	4 月 18 日(木)	事業計画等	6 月 18 日(火)	あずなびあまつり等	8 月 22 日(木)	あずなびあまつり (最終調整) 等	11 月 6 日(水)	点検・評価、事業計画案等	2 月 19 日(水)	事業計画案 (最終調整) 等	<p>視聴覚教育に関する最新のニーズに応えるため、連携を密にするとともに、今後も指導員の方々が主体的に参加できるような場づくりをしていきたい。</p> <p>本年度は会議とあずなびあまつり以外に、仙南地域の名産品をテーマとして映像制作を行った（作品は、ふるさと C-M グランプリへ参考出品）。今後もこういった協働の場を増やしていきたい。</p>
開 催 日	内 容												
4 月 18 日(木)	事業計画等												
6 月 18 日(火)	あずなびあまつり等												
8 月 22 日(木)	あずなびあまつり (最終調整) 等												
11 月 6 日(水)	点検・評価、事業計画案等												
2 月 19 日(水)	事業計画案 (最終調整) 等												
<p>(2) 学校教育・社会教育専門部会 (再掲)</p>	<p>(1-②と同様のため省略)</p>												
<p>(3) 社会教育等主管課長会議</p> <p>予算、決算及び各種事業の実施状況等の説明のため、構成市町社会教育等主管課長会議を開催した。</p> <p>○年 2 回開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開 催 日</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5 月 24 日(金)</td> <td>事業実施状況報告及び決算</td> </tr> <tr> <td>11 月 22 日(金)</td> <td>点検・評価、事業計画・予算案</td> </tr> </tbody> </table>	開 催 日	内 容	5 月 24 日(金)	事業実施状況報告及び決算	11 月 22 日(金)	点検・評価、事業計画・予算案	<p>当組合教育委員会の事業を推進していくうえで、構成市町の社会教育等主管課長の意見や要望を聞き取る、肝要な会議である。構成市町の理解を得て、よりよい事業を展開していけるように努めていきたい。</p>						
開 催 日	内 容												
5 月 24 日(金)	事業実施状況報告及び決算												
11 月 22 日(金)	点検・評価、事業計画・予算案												

成 果	課 題				
<p>② 広報活動</p> <p>視聴覚教材センター事業の案内と、教材・機材の利用促進、視聴覚教育に関する情報提供を行い、利用率の向上を目指した。発行物については、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材センターだより（隔月発行） ○教育委員会要覧（5月発行） ○教材センターのしおり（5月発行） ○各種題名一覧（5月発行） ○教材センター事業の紹介チラシ（5月発行） ○あずなびあまつり（視聴覚教材センターフェスティバル）チラシ（9月発行） 	<p>今後も広報や周知を徹底していくため、発行物の内容の充実やホームページでの周知を徹底していく。</p>				
<p>③ 現場訪問事業</p> <p>視聴覚教育指導員と共に、圏域の社会教育施設等を訪問し情報提供を行い、視聴覚教材・機材の利用促進が図られた。</p> <p>○訪問先:公民館(自治センター、まちづくりセンター含む)、保育所(園)、幼稚園、児童館(センター)等</p> <table border="1" data-bbox="226 987 951 1088"> <thead> <tr> <th data-bbox="226 987 588 1037">期 間</th> <th data-bbox="588 987 951 1037">訪 問 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="226 1037 588 1088">5月～6月</td> <td data-bbox="588 1037 951 1088">47施設</td> </tr> </tbody> </table>	期 間	訪 問 数	5月～6月	47施設	<p>本年度は当教材センターの事業のPRと現場のニーズを把握するため、現場訪問を重点的に実施。その効果が出前講座の依頼数増という形で現れたが、今後は整備する教材・機材等にも生の声を反映させ、利用促進を目指す。</p>
期 間	訪 問 数				
5月～6月	47施設				

有識者による意見・評価	意見に対する対応等
<p>○最近、視聴覚教材センターの存在を知らない教員が多い。各学校、市役所のホームページなどの画面に、PR効果の高い教材センターのリンクを貼ってもらえるような取り組みが必要だと思われる。教員のパソコンに表示させて、目に止まるような仕組みができればよいと思う。</p> <p>○道の駅、公民館などで、視聴覚教材センターの映像等を流してもらおう依頼するなど、ホームページだけでなく、興味を持ってもらう、知ってもらおう取り組みも考えてほしい。</p>	<p>○PR方法については、今後の指導員会議でも情報交換を行うなど、教育関係者はもちろんのこと、すべての圏域住民にとって身近な存在となるべく、努めていきたい</p>

【仙南広域圏の振興発展に資する事業】

事業目的	子どもたちが興味・関心を持つことのできる事柄を通じて、ことさらに自治体の枠を超えて、圏域の将来の文化活動を担う人材育成すること。また、次代を担う子どもたちと地域の文化を『はぐくむ』ことをテーマとした事業を実施する。
事業名	① AZ9 ジュニア・アクターズ養成事業 ② AZ9 アウトリーチ事業 ③ AZ9 パスポート事業

成 果	課 題
<p>① AZ9 ジュニア・アクターズ養成事業</p> <p>仙南 2 市 7 町の小学 4～6 年生を対象に募集を行い、応募者は小学 5・6 年生の在籍者ととも、演技、舞踊、音楽など舞台芸術に関する能力を磨いた。本年度は、恒例の夏合宿を公演のテーマである白石市（南蔵王野営場）で実施。2 月には仙南芸術文化センターで本公演を行った。</p> <p>○令和元年度在籍者数 46 名（33 名） ○本公演入場者数 1,316 名（1,170 名）</p> <p>※（ ）内の数字は、前年度実績</p>	<p>自治体の枠を超えて、圏域の文化活動を担う人材の育成を目的とした事業である。本年度はキャンプ場で恒例の夏合宿を行い、レッスンの合間に沢登りやナイトハイキング等を実施。日常生活では味わえない貴重な体験ができたとして、アクターズとその保護者から大好評であった。本公演に関しては、入場者数が近年で最も多く、白石市の歴史や文化を学べる内容と、なによりアクターズの潑刺とした演技に、一般の来場者、当組合教育委員及び当組合理事・議員から称賛の声が多数寄せられた。今後の事業継続については、財政的な面や形態などを含め、多方面での協議が必要である。</p>

成 果	課 題																					
<p>② AZ9 アウトリーチ事業</p> <p>レッスンの成果発表の場である。さらに、圏域住民へアクターズ活動の周知徹底、演劇への興味を喚起することを目的に実施した。</p> <table border="1" data-bbox="226 405 949 983"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>開催日</th> <th>場 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>白石市こどもまつり</td> <td>5月26日 (日)</td> <td>白石市中央公民館</td> </tr> <tr> <td>支倉常長まつり</td> <td>6月2日 (土)</td> <td>川崎町役場</td> </tr> <tr> <td>福祉施設訪問</td> <td>8月31日 (土)</td> <td>ざおうの杜あおそ館(蔵王町)</td> </tr> <tr> <td>あずなびあまつり</td> <td>9月16日 (月・祝)</td> <td>仙南芸術文化センター／大河原総合体育館</td> </tr> <tr> <td>鉄道の日イベント 2019</td> <td>10月5日 (土)</td> <td>すまいる広場(白石市)</td> </tr> <tr> <td>白石福祉まつり</td> <td>11月2日 (土)</td> <td>ホワイトキューブ(白石市)</td> </tr> </tbody> </table>	内 容	開催日	場 所	白石市こどもまつり	5月26日 (日)	白石市中央公民館	支倉常長まつり	6月2日 (土)	川崎町役場	福祉施設訪問	8月31日 (土)	ざおうの杜あおそ館(蔵王町)	あずなびあまつり	9月16日 (月・祝)	仙南芸術文化センター／大河原総合体育館	鉄道の日イベント 2019	10月5日 (土)	すまいる広場(白石市)	白石福祉まつり	11月2日 (土)	ホワイトキューブ(白石市)	<p>本年度は公演のテーマである白石市を中心に展開。さらに昨年度のテーマであった川崎町からも声がけいただいた。各所でアクターズの素晴らしさをアピールできたことが、本公演の入場者数増加に繋がったものと思われる。</p> <p>今後は、現在入団者がいない市町(蔵王町、セヶ宿町)のイベントにも出演できるよう調整し、仙南2市7町全てにメンバーがいる状態を目指していきたい。</p>
内 容	開催日	場 所																				
白石市こどもまつり	5月26日 (日)	白石市中央公民館																				
支倉常長まつり	6月2日 (土)	川崎町役場																				
福祉施設訪問	8月31日 (土)	ざおうの杜あおそ館(蔵王町)																				
あずなびあまつり	9月16日 (月・祝)	仙南芸術文化センター／大河原総合体育館																				
鉄道の日イベント 2019	10月5日 (土)	すまいる広場(白石市)																				
白石福祉まつり	11月2日 (土)	ホワイトキューブ(白石市)																				
<p>③ AZ9 パスポート事業</p> <p>仙南圏域及び県内6圏域の社会教育施設等の無料開放を受けられるパスポートを、圏域内2市7町の小・中学校及び支援学校に配布している。</p> <p>○パスポート利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙南圏域内相互利用施設：7施設 2,058名(2,232名) ・仙南圏域内相互利用以外の施設：10施設 2,979名(4,357名) <p>※()内の数字は、前年度実績</p>	<p>本年度は10月の台風19号や深刻な雪不足(スキー場)の影響等により、利用人数は減少に転じた。引き続きホームページ等を活用し、利用促進を図っていく。</p>																					

有識者による意見・評価	意見に対する対応等
<p>○基本的なことに立ち返るが「目的」は絶対に動かしてはならない「課題」であり、点検・評価は、目的を実現する手法「事業内容」に対して行うと考える。改めて「基本目標」である「仙南広域圏の振興発展に資する事業計画」を振り返ると、AZ9 事業は目的全文をしっかり果たしており、継続は必須である。</p> <p>演劇を通じた教育環境の効果は計り知れないものがあり、一朝一夕で成されるものではない。長い実績とたゆまぬ反省で育て上げられた AZ9 事業の教育効果は、他都市の追随を超えている。また、器としての事業があることで、参加する親子は新陳代謝を繰り返し、世代や地域を超えて流動、変化し続けている。器だけ見れば、また最終公演のステージだけを見れば、同じ繰り返しに見えるかもしれないが、外部から見えにくいプロセスこそ成長の現場であり、安定した場の提供は豊かな環境整備そのものである。継続することが最優先の課題。</p> <p>○自治体の枠から外れてやっていく可能性は持っているのか。また、えずこシアターとの関係は。連続性は持たせられるのか。</p>	<p>○事業の継続のため、各種助成金や企業への協賛依頼なども検討しているが、継続的に事業を実施できる財源の確保は難しい。また、受益者負担のみで実施するとすれば、相応の額の負担を求めることにもなる。</p> <p>地域の文化を担う人材の育成という観点を踏まえ、市町の理解のもと負担をお願いすることも必要と考えている。</p> <p>○えずこシアターに参加している AZ9 の卒業生もいるが、人材育成の考え方や参加者の年代に隔たりがあり、これまでのところ連続性を持たせるには至っていない。</p>

1. 活力あふれる創造発信事業

事業目的	地域住民の主体的な活動として、ホールを拠点に通年で展開するプログラム。子どもから高齢者まで、幅広い年齢層の多様な方々が参加、協働してワークショップを重ね、音楽5団体の合同コンサート、演劇2団体の公演を、地元密着型の創造舞台として制作し内外に発信していく。各事業ともアートによる人材育成事業として取り組む。
事業名	<p>(1) 住民創造グループ</p> <p>① えずこシアター</p> <p>② えずこヴァイオリン&チェロ♪アカデミー</p> <p>③ えずこウインド♪アンサンブル</p> <p>④ えずこ♪男声合唱団</p> <p>⑤ えずこギター♪アンサンブル</p> <p>⑥ e☆GG (えずこ☆ゴスペル)</p> <p>⑦ えずこボランティアスタッフ</p> <p>⑧ えずこキッズクラブ (託児ボランティアスタッフ)</p> <p>(2) 住民創造グループの公演</p> <p>① えずこシアター第22回公演『赤勝て、白勝て、劇合戦～えずこシアター全員集合!』</p> <p>② えずこミュージック♪アカデミーコンサート23rd</p> <p>③ AZ9 ジュニア・アクトーズ第27回公演『こけしくとニポポちゃん～白石侍北へ行く～』</p> <p>④ えずこ圏民企画劇場・・・フルーツ☆ボックス「ファミリーコンサート2019」</p> <p>AZミュージック・フェスティバル23rd、第5回 仙南地方の民話交流のつどい、仙南邦楽邦舞の祭典、第14回 新春コンサート～仙南地区ゆかりの教職員による～、DAN DAN DANCE & SPORTS 16th、2020 プラスフィエスタ in 仙南 ～吹奏楽の祭典～、AZoo 第6回公演【中止】(採択7事業)</p>

成 果	課 題
<p>(1) 住民創造グループ *詳細: R1事業報告書 P8～P10 参照</p> <p>① えずこシアター</p> <p>倉品淳子(劇団山の手事情社/俳優・演出家)を講師として迎えて13年目のシーズン。構成演出の手法で、メンバーそれぞれの個性を引き出し、独創的かつ魅力的な世界観を、メンバーと一丸となって創りあげてきた。今回は、即興劇に取り組んだ。絹川友梨(演劇家)、片岡祐介(音楽家)をゲスト講師に招き、さまざまなアプローチで即興劇づくりを実施。偶発的に生じるエピソードは、個々の持つポテンシャルと創造性を劇的に引き出し、ドラマチックなシーンを作り上げた。また、参加者も若手が増えてきており、参加年齢層の幅も広げながら住民演劇の魅力をブラッシュアップを図り、アマチュア演劇の限界を超える活動の試みは続いている。</p> <p>●団員数(参加者数): 25名(昨年度23名)</p> <p>●参加者延べ人数: 1,462名(昨年度1,768名)</p>	<p>山の手事情社の倉品淳子の指導、演出のもと、参加者のアイデアを盛り込みながら、質の高い作品作りと新たなチャレンジが観客から高い評価をいただいた。一方、若手メンバーとベテランメンバーの入れ替わりが進んできており、世代間の意識のずれや稽古量の多さからの体力面の格差を埋めつつ劇団活動を継続していけるか、長期の課題を抱える。</p>
<p>② えずこヴァイオリン&チェロ♪アカデミー</p> <p>主に小中学生を対象にしたえずこヴァイオリン♪アカデミーとチェロ♪アカデミーの活動。現在、合奏クラスの参加人数が年度末までに減少したことを受け、安定した活動を展開している両アカデミーの基礎レッスンを中心に、新たに合奏クラス参加者を募集をするなど弦楽合奏団としての活動を目指し、進めることにしている。また、安定的に活動が展開できるよう組織力強化など課題を一つ一つ解決する方向で進めている。</p> <p>■ えずこヴァイオリン♪アカデミー ●参加者数: 14名(昨年度9名) ●参加者延べ人数: 469名(昨年度382名)</p> <p>■ えずこチェロ♪アカデミー ●(参加者数): 5名(昨年度3名)</p> <p>●参加者延べ人数: 93名(昨年度200名)</p>	<p>合奏スタイルと団体としての組織、運営力を蓄えていくことを継続的課題としている。</p>

成 果	課 題
<p>③えずこウィンド♪アンサンブル</p> <p>毎週火曜、主に平土間ホールを会場に定期練習を行っている。7月7日には今年で21回目となる自主企画公演『チャリティーコンサート』を開催。バラエティに富んだ楽曲と演出、初心者からベテランまでが楽しんで演奏する姿に会場から惜しめない拍手が贈られた。さらに、地域のイベントであるJR白石蔵王駅が主催するイベントなどへも参加し、地域に繋がる活動も積極的に行い、活動の幅を広げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●団員数（参加者数）：39名（昨年度41名） ●参加者延べ人数：2,627名（昨年度2,663名） 	<p>幅広い年齢層で構成されているため、世代間の意思疎通と演奏レベルの維持向上が課題。世代交代が進む傾向にあり、活動の趣旨や運営方針などの引き継ぎと継続性も今後の課題となっている。年度末以降新型コロナの影響から活動を休止し、再開後の活動について協議・模索の段階にある。</p>
<p>④えずこ♪男声合唱団</p> <p>参加者の平均年齢が60代後半と住民創造グループの中で最も高齢化が進む男声合唱団。6月9日には自主コンサートを開催。女声コーラスRegina（レジーナ）との共演するなど熟年世代の活動に注目を集める。また、男声合唱団内で「ダブル・ヴィレッジ」と「オールド・ピアノ・アンサンブル」の2つのユニットを擁し、アウトリーチ事業など多彩な活動を展開。熟年男声合唱の魅力で、えずこ男声ファンを増やし続けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●団員数（参加者数）：22名（昨年度16名） ●参加者延べ人数：603名（昨年度636名） 	<p>自主コンサートのほか、キャラバン事業への取り組みにも意欲的だが、参加者の高齢化が進み、若年層の参加者の取り込みが継続的な課題。年度末以降は新型コロナの影響を受け、活動が停滞。今後の再開と新たな活動形式を模索している。</p>
<p>⑤えずこギター♪アンサンブル</p> <p>定期練習を毎週水曜日、練習室1・3を会場に行っている。ギター体験ワークショップを呼び水としてビギナーズコースである「えずこギター♪フレッシュャーズ」の活動を継続させると同時に、定期演奏会（6/23・大ホール）ではプログラムに創意工夫を凝らし、技術面の格差を感じさせない内容で多くの観客から支持を受けた。さらに、地域に出向いてのアウトリーチ事業にも積極的に取り組み、学校や福祉施設でミニコンサートを多数行うなど活動の幅を広げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●団員数（参加者数）：30名（昨年度40名） ●参加者延べ人数：1,440名（昨年度2,135名） 	<p>自主運営の体制強化も図られ実力もついてきている。アウトリーチの取り組みも積極的で、今後の展開が期待される。また、クラシックギターの体験ワークショップなどで入団した初心者を含む育成が進んできており、フレッシュャーズから本体のアンサンブルへの合流が促進。従来メンバーの休団数が一時的に増えており、今後の動きを注視していきたい。</p>
<p>⑥e☆GG（エッグ：えずこ☆ゴスペル）</p> <p>精力的な練習と地域でのアウトリーチ活動を重ね、今年も活動の幅を広げた。「やまもと地域交流福祉まつり」や「しばたファンタジーイルミネーション」のカウントダウン点灯式の出演は定例となり、地域での人気も定着（キャラバン計5回、観客数300名）。毎年出演しているアカデミーコンサートでは、通称「ロビコン」で親しまれる幕間中のロビーを使ったミニコンサートで、えずこ♪男声合唱団やえずこギター♪アンサンブルとコラボレーションし、大いに会場を盛り上げた。現在、参加者の9割が女性で、男性参加者の新規加入が待望される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●団員数：18名（昨年度16名） ●参加者延べ人数：520名（昨年度630名） 	<p>新しいメンバーが少しずつは入ってきているが、経験豊富なメンバーの退団などもあり、活動の活性化に課題が残る。一方で地域と繋がる事業の一環でもあるキャラバン事業などは安定的に実施されており、その継続の推移を見ていきたい。年度末以降は新型コロナの影響を受け、活動が停滞。今後の再開と新たな活動形式を模索中。</p>

成 果	課 題
<p>⑦ えぞこホールボランティアスタッフ</p> <p>えぞこホールの主催事業やイベントの際に、受付（もぎり・パンフレット配布など）や会場・客席誘導、バーカウンターサービスなどの接客サービス面をサポートするえぞこホールボランティアスタッフ。公演後には必ず反省会を開催し、トラブル回避のために改善策を考え、意見交換するなど意欲的に活動している。参加者には、公演やイベントに参加する毎にポイントを発行し、そのポイントがたまと、えぞこホールの主催事業の招待券などがもらえるポイント制を導入しており、多くの作品に触れてもらう機会も提供している。しかし、メンバーの固定化による高齢化が進み、新メンバーを如何に確保してくるかが問題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●団員数（参加者数）：28名（昨年度27名） ●参加者延べ人数：227名（昨年度257名） 	<p>参加者の高齢化が進んできているが、一方、新規参加者についても緩やかではあるが、増える傾向が見受けられる。同時に広告知や活動の普及に努めていきたいところ。また、サービス意識の向上については、活動のマナー化を解消しながら、研修等も継続的に行っていく必要がある。</p>
<p>⑧ えぞこキッズクラブ（託児ボランティアスタッフ）</p> <p>子育て中のパパママを応援したい、という気持ちから主催事業（鑑賞事業）の開催時に託児ルームを開設し、お子様をお預かりする活動を行なっている託児ボランティア。1人500円というリーズナブルな金額で、小さいお子様がいらっしゃるご家族にもゆっくりと事業を鑑賞していただいている。また、月に一度のペースで開催している「えぞっこひろば」は未就学児も大人気。毎回プログラムを工夫しながら子育て世代でも文化ホールに気軽に足が運べるよう取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●参加者数：15名（昨年度13名） ●参加者延べ人数：114名（昨年度121名） ●託児預かり数31名：全7公演（昨年度19名：全9公演） 	<p>「えぞっこひろば」の継続性とバリエーションを強化していくことが課題としてきたが、創意工夫と人的交流が強化されてきており、プログラムのバリエーションも強化されてきている。一方、鑑賞事業での託児数が減少傾向にあったが、徐々に回復傾向となっており、今後も告知や口コミ等によりサービスの利用促進が望まれる。</p>

成 果	課 題																			
<p>(2) 住民創造グループの公演 *詳細：R1事業報告書 P12～参照</p> <p>①えぞこシアター第22回公演 『赤勝て、白勝て、劇合戦～えぞこシアター全員集合！』</p> <table border="1" data-bbox="212 1529 962 1671"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>入場率</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">8月24日 (土)</td> <td>昼</td> <td>162名</td> <td>79.4%</td> <td>20名</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>126名</td> <td>61.8%</td> <td>20名</td> </tr> <tr> <td>8月25日(日)</td> <td>平土間ホール</td> <td>202名</td> <td>99.0%</td> <td>21名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(昨年度3回公演 234名・100.4%・25名、184名・79.0%・25名、218名・93.6%・25名)</p> <p>【概要】新たな試みとして、即興劇に取り組んだ。偶発性を伴うエピソードが、個々の持つポテンシャルと創造性を引き出し、よりドラマチックなシーンが生み出された。予想だにしない展開が観客の心を惹きつけ、笑いと拍手が沸きおこった。3回公演ともに盛況で、その創造性溢れる表現は、住民劇団という枠にとらわれない可能性を予見させた。</p>	開催日	会場	入場者数	入場率	参加者数	8月24日 (土)	昼	162名	79.4%	20名	夜	126名	61.8%	20名	8月25日(日)	平土間ホール	202名	99.0%	21名	<p>(* P13 記載の課題と同様)</p>
開催日	会場	入場者数	入場率	参加者数																
8月24日 (土)	昼	162名	79.4%	20名																
	夜	126名	61.8%	20名																
8月25日(日)	平土間ホール	202名	99.0%	21名																

成 果		課 題																									
<p>②えぞこミュージック♪アカデミーコンサート 23rd</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>入場率</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月24日(日)</td> <td>大ホール</td> <td>614名</td> <td>85.5%</td> <td>151名</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>出演者</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>えぞこギター♪アンサンブル</td> <td>36名</td> </tr> <tr> <td>えぞこ♪男声合唱団</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td>えぞこヴァイオリン&チェロ♪アカデミー</td> <td>16名</td> </tr> <tr> <td>e☆GG</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>えぞこウィンド♪アンサンブル</td> <td>39名</td> </tr> <tr> <td>他 舞台スタッフ・ボラスタッフ</td> <td>30名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(昨年度 入場者数 764名、入場率 97.8%、参加者数 162名)</p> <p>【概要】えぞこホールを拠点に活動をする5つの住民音楽グループによる合同コンサート。通称「アカコン」の名で親しまれるこのコンサートは、出演者はもとより、表方、裏方スタッフもすべて住民、総勢150名を超える人々による手作りのコンサート。令和という新しい時代の変わり目にちなんで「はじまり」がテーマ。各団とも趣向を凝らし、バラエティに富む楽曲が演奏された。フィナーレでは「栄光の架橋」を参加者が客席を囲み、会場全体が一つの輪となって大合唱を締めくくった。</p>		開催日	会場	入場者数	入場率	参加者数	11月24日(日)	大ホール	614名	85.5%	151名	出演者	人数	えぞこギター♪アンサンブル	36名	えぞこ♪男声合唱団	18名	えぞこヴァイオリン&チェロ♪アカデミー	16名	e☆GG	12名	えぞこウィンド♪アンサンブル	39名	他 舞台スタッフ・ボラスタッフ	30名	<p>実行委員会の委員が毎年変わり、ゼロからのスタートとなるため、運営、制作面でのノウハウの蓄積やレベルアップを図っていくのが難しい。同時にモチベーションをどう維持していけるかも課題となっている。</p>	
開催日	会場	入場者数	入場率	参加者数																							
11月24日(日)	大ホール	614名	85.5%	151名																							
出演者	人数																										
えぞこギター♪アンサンブル	36名																										
えぞこ♪男声合唱団	18名																										
えぞこヴァイオリン&チェロ♪アカデミー	16名																										
e☆GG	12名																										
えぞこウィンド♪アンサンブル	39名																										
他 舞台スタッフ・ボラスタッフ	30名																										
<p>③AZ9ジュニア・アクターズ第27回公演 『こけしくとニポポちゃん～白石侍北へ行く～』</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>入場率</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2月8日(土)</td> <td rowspan="2">大ホール</td> <td>639名</td> <td>90.3%</td> <td>124名</td> </tr> <tr> <td>2月9日(日)</td> <td>677名</td> <td>95.6%</td> <td>124名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(昨年度2回公演 649名・94.3%・98名、521名・75.7%・99名)</p> <p>【概要】仙南圏域2市7町の小学4年生～6年生で構成する児童劇団AZ9ジュニア・アクターズ。6月から約9か月間稽古を重ね、地域のイベントに参加したほか、さまざまなワークショップで体験・学習を経て創作に向けた活動を展開。白石市を題材に、北海道開拓に旅立った白石の開拓移民とアイヌの人々らとの交流、自然との共生を描く作品となった。今年も元気いっぱい歌って踊る子どもらしいシーンの数々を演出。会場からは温かい拍手が贈られた。</p>		開催日	会場	入場者数	入場率	参加者数	2月8日(土)	大ホール	639名	90.3%	124名	2月9日(日)	677名	95.6%	124名	<p>今後、事業評価をもとに継続と展開をどう図っていくか、財政面を含め多方面での協議が必要となっている。また、育てる会（保護者の会）やOB/OGほか地域との連携など継続性を伴う点が課題となっている。公演事業を含む活動の継続については、事業費が基金の運用が基礎で、第30回公演を目途に活動の見直しが迫られている。</p>											
開催日	会場	入場者数	入場率	参加者数																							
2月8日(土)	大ホール	639名	90.3%	124名																							
2月9日(日)		677名	95.6%	124名																							
<p>④えぞこ圏民企画劇場 *詳細：R1事業報告書P14～P16参照</p> <p>【概要】仙南地域に住む方々が地域に根ざして展開する企画を支援する事業。下記7事業について、審査会の採択を経て支援を行った。どの事業についても参加対象は子どもから大人まで幅広く、それぞれ地域に根ざし充実した事業を展開することができた。</p> <p>■フルーツ☆ボックス「ファミリーコンサート2019」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>出演者数</th> <th>料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月15日(土)</td> <td>平土間ホール</td> <td>220名</td> <td>35名</td> <td>無料</td> </tr> </tbody> </table> <p>(昨年度 入場者数 210名、出演者数 35名)</p>		開催日	会場	入場者数	出演者数	料金	6月15日(土)	平土間ホール	220名	35名	無料	<p>近年の傾向として、新規の申請が少ない状況が続いていることから、事業そのものの普及に向けた課題と同時に事業の見直しについても検討の余地がある。また、継続展開している事業については、明確な目標の設定と継続性、主催や運営に関わるスタッフの世代交代などがあげられている。</p>															
開催日	会場	入場者数	出演者数	料金																							
6月15日(土)	平土間ホール	220名	35名	無料																							

■AZミュージック・フェスティバル 23rd

開催日	会場	入場者数	参加者数	料金
7月28日(日)	大ホール	900名	130名	無料

(昨年度 入場者数 800名、出演者数 192名)

■第5回 仙南地方の民話交流のつどい

開催日	会場	入場者数	参加者数	料金
9月28日(土)	平土間ホール	150名	10名	無料

(昨年度 入場者数 150名、出演者数 14名)

■第15回 新春コンサート ～仙南地区ゆかりの教職員による～

開催日	会場	入場者数	スタッフ数
1月19日(日)	大ホール	350名	60名

(昨年度 入場者数 210名、出演者数 35名)

■DAN DAN DANCE & SPORTS 16th

開催日	会場	入場者数	スタッフ数
1月25日(土)	大ホール	364名	277名

(昨年度 入場者数 281名、出演者数 222名)

■2020 プラスフィエスタ in 仙南 ～吹奏楽の祭典～

開催日	会場	入場者数	スタッフ数
2月2日(日)	大ホール	800名	500名

(昨年度 入場者数 210名、出演者数 35名)

■AZoo 第6回公演『最高の報酬』…新型コロナのため中止

開催日	会場	入場者数	スタッフ数
3月16日(土)	平土間ホール	—	—
3月17日(日)	平土間ホール	—	

(昨年度公演 入場者数 127名・124名、スタッフ数延べ 40名)

有識者による意見・評価	意見に対する対応等
<p>○えぞこホールの事業については、年々、充実していると思います。職員の方の努力に一住民としても感謝している。</p> <p>○AZ 9ジュニア・アクターズ、住民創造グループのモチベーションなど課題もあると思うが、今後も継続してほしい。</p>	<p>すべての活動は、良いときもあれば、停滞するときもあり、それぞれ波がある。</p> <p>参加いただいている方々とも十分にコミュニケーションを図り、地域の活動の意義を深めつつ、さらに文化芸術活動が地域に彩をもたらせるよう地域と住民に寄り添った活動支援を継続していく。</p>

2. うるおいの参加体験事業

事業目的	幅広いジャンルの多様な体験型ワークショップを、老若男女誰もが参加しやすいプログラムとして各種開催する。また、なかなかホールに足を運ぶことができない方々に向けて、学校、福祉施設、各種イベント等において参加体験型のワークショップを中心としたアウトリーチを展開する。両事業とも、社会包摂型の普及・参加体験事業として制作し実施する。
事業名	<p>I アウトリーチ事業</p> <p>i アーティスト編（えずこキャラバン）</p> <p>(1)音楽アウトリーチ</p> <p>①片岡祐介（音楽家）</p> <p>②フロレンシア・ルイス（ヴォーカル、ギター）、ヤヒロトモヒロ（パーカッション）、鬼怒無月（ギター）</p> <p>③加藤直明（トロンボーン）、中川賢一（ピアノ）</p> <p>④ヒュー・ナンキベル（音楽家）、野村誠（音楽家）、エマ・ウェルトン（ヴァイオリン）</p> <p>⑤荒川洋（フルート）×中川賢一（ピアノ）</p> <p>(2)演劇アウトリーチ</p> <p>①柏木陽（演劇家）</p> <p>②名越未央（俳優 / 劇団山の手事情社）</p> <p>(3)ダンスアウトリーチ</p> <p>ISOPP(ヒップホップダンサー)</p> <p>(4)その他アウトリーチ</p> <p>上田假奈代（詩業家）</p> <p>ii 住民創造グループ編（えずこキャラバン）</p> <p>II ワorkshop事業</p> <p>i 各種オープンワークショップ</p> <p>ii あずなびあまつり～えずこ・はねっこ全館かえっこ～</p>

成 果	課 題
-----	-----

<p>I アウトリーチ事業</p> <p>i アーティスト編 *詳細: R1事業報告書 P18 ~P 22 参照</p> <p>(1)音楽アウトリーチ 22回 参加者数 854名</p> <p>①片岡祐介（音楽家） 金ヶ瀬小学校、さくらの風（大河原 2）、柴田小学校、西住小学校（柴田 2）、前川小学校、富岡小学校（川崎 2）、白川小学校（白石 1）、藤尾小学校（角田 1）</p> <p>②フロレンシア・ルイス（ヴォーカル、ギター）、ヤヒロトモヒロ（パーカッション）、鬼怒無月（ギター） 桜保育所（大河原 1）、小規模多機能あいやま、ふぼう（村田 2）、宮保育所（蔵王 1）</p> <p>③加藤直明（トロンボーン）、中川賢一（ピアノ） 大河原中学校（大河原 3）、桜小学校（角田 1）、川崎小学校（川崎 1）</p>	<p>①各分野とも実績を積んできたアーティストを起用し、さらに各方面からリクエストも多い方々を起用することで、安定し信頼感のあるプログラムを提供できている。一方で今後新たなアーティストを迎え入れるための情報収集やアウトリーチ事業そのものが手間がかかる側面がある。資金確保や担当スタッフのスキルアップも課題となっていて、継続性に影響を及ぼすことも懸念材料。</p> <p>②小規模校からの開催希望は安定的であるが、アウトリーチ事業の特徴でもある参加者数の制限などにより大規模校での実施が少ない点も課題の一つである。</p>
--	--

成 果	課 題
<p>④ヒュー・ナンキベル（音楽家）、野村誠（音楽家）、エマ・ウェルトン（ヴァイオリン） 小規模多機能居宅介護あいやま（村田 1）</p> <p>⑤荒川洋（フルート）、中川賢一（ピアノ） 北郷小学校（角田 1）、筆甫小学校、耕野小学校、大張小学校（丸森 3）</p> <p>【概 要】クラシックでは楽器を使った体験型のプログラムが大好評だった。また、昨年度に引き続きフルートによる親しみやすい音色で反響を呼んだ。また、片岡祐介による作曲アウトリーチでは自由度の高さとクリエイティブな内容が高評価であった。</p> <p>(2)演劇アウトリーチ 7回 参加者数 151名 ①柏木陽（演劇家） 船岡保育所（柴田 1）、沼辺児童館（村田 1）</p> <p>②名越未央（俳優 / 劇団山の手事情社） さくらグループホーム（大河原 1）、白石高校、寿光園、陽光園（白石 3）、川崎町社会福祉協議会（川崎 1）</p> <p>【概 要】タイプが異なる3人の演劇家によるそれぞれのプログラムでは、演劇の力と魅力を最大限に活かし、能動的な関わりを仕掛けることで参加者それぞれが内包している表現力やパワーを引き出すことができた。</p>	<p>③各ジャンルと訪問先へのバランス調整も配慮が必要で、ノウハウの蓄積と同時に専門性を持つ人材育成についても担保していかなければならない。</p> <p>④急なオファーや定例のジャンルと異なるタイプのアウトリーチ事業の提案なども増えており、柔軟性をもって対応していくことも課題とされる。</p>
<p>(3)ダンスアウトリーチ 9回 参加者数 482名</p> <p>ISOPP(ヒップホップダンサー) 大河原南小学校（大河原 1）、船岡小学校、槻木小学校（柴田 3）、村田小学校（村田 1）、角田小学校、横倉小学校（角田 3）、小齋小学校（丸森 1）</p> <p>【概 要】教育課程に取り込まれているダンスはその専門性から学校サイドからもその必要性を求められるプログラムとなっていて、需要も高い。個々の体を使ってコミュニケーションをとるなど、障害がある、なしに関わらず楽しんでいただける内容だった。</p>	
<p>(4)その他アウトリーチ 3回 参加者数 75名</p> <p>上田假奈代（詩業家） 白石陽光園（白石 1）、関保育所、高齢者福祉センター（七ヶ宿 2）</p> <p>【概 要】。簡単な言葉の表現を繋ぎながら深くコミュニケーションする内容は、心と心を繋ぐ交流の場を生み出した。未就学児から高齢者まですべての世代が言葉の持つ力で繋がっていく時間を存分に楽しんだ。</p>	

成 果	課 題
<p>ii 住民創造グループ編 *詳細: R1事業報告書 P22 ~P 25 参照</p> <p>えずこギター ♪アンサンブル さとうや、敬老会、母子福祉会(大河原 3)、剣水集会所、東船岡小学校(柴田 2)、ざおうの杜(蔵王 1) 実施回数 6 回 参加者 790 名(昨年度 7 回 750 名)</p> <p>えずこウインド ♪アンサンブル 白石蔵王駅(白石 1) 1 回 120 名(昨年度 8 回 463 名)</p> <p>えずこヴァイオリン・チェロ ♪アカデミー ざおうの杜(蔵王 1) 1 回 60 名(昨年度 2 回 160 名)</p> <p>e ☆ GG 大河原駅前広場、社会福祉協議会、メモリアルホール(大河原 3)、メモリアルホール、すまいる広場(白石 2)、ざおうの杜(蔵王 1)、田園ホール(角田 1)、コダナリエ、アエル(圏域外 2) 9 回 280 名(昨年度 5 回 300 名)</p> <p>えずこ ♪男声合唱団 常盤園、あおぞら、敬老会、地域福祉センター、長照院(柴田 5)、楽園が丘、ざおうの杜(蔵王 2) 7 回 455 名(昨年 4 回 288 名)</p> <p>【概要】 えずこホールを拠点に活動する住民創造グループのうち、表現活動を行う全ての団体が参加。教育、福祉、まちづくり分野の関係各所と繋がり、音楽や演劇活動を通じた彩のある時間を共有。関係各所の人々との絆を深めた。</p>	<p>各団体とも各年によって運営状況に大きく左右される事業でもあり、安定的な運営を確保しつつ地域との繋がりを作っていく必要がある。キャラバン事業推進の方針は各団体とも浸透しつつあり、今後は運営や地域交流によって活動のモチベーション強化が継続的な課題となる。年度末より新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各団体の活動が休止したことから、日常の活動をどのように戻していくかなどの課題を抱えることになった。</p>

成 果	課 題
<p>II ワークショップ事業</p> <p>i 各種オープンワークショップ *詳細: R1事業報告書 P26 ~参照</p> <p>えずこキッズクラブ「えずっこひろば」 12 回 140 名(昨年度 12 回 174 名)</p> <p>えずこ男声合唱団うたごえ喫茶合唱ワークショップ 1 回 35 名(昨年度 2 回 12 名)</p> <p>炎のジブシーブラス 映画上映会 1 回 4 名</p> <p>クラシックギター体験ワークショップ vol.7 3 回 27 名(昨年度 3 回 57 名)</p>	<p>多岐に亘るジャンルを幅広く実施するための資金やマンパワーをどう確保し、幅広い対象に向けて実施していけるか、多面的な課題と継続性に対峙していかなければならない。鑑賞事業との連携やアウトリーチ事業との連携など応用できることについても大いに検討の余地がある。</p>

<p>えずこ高校演劇サマーワークショップ 3回 84名 (昨年度3回 52名)</p> <p>ウィーン=ベルリンブラスクインテット 楽器クリニック 1回 34名</p> <p>60歳からの楽しいクラブ活動 3回 20名 (昨年度7回 122名)</p> <p>ヒューとノムラのみステリー音楽ワークショップⅡ 5回 129名 (昨年度5回 140名)</p> <p>【概要】ジャンルはさまざまで演劇、音楽、作曲、詩など幅広いジャンルの内容を老若男女が参加した。アート体験がより地域の皆さんの心に潤いをもたらし、学びや気づきの場を作ることができた。</p>	
---	--

成 果	課 題
-----	-----

ii あずなびあまつり～えずこ・はねっこ全館かえっこ～		
開 催 日	会 場	入 場 者 数
9月16日(月)	※	2,227名
(昨年度 入場者数 2,274名、スタッフ数 198名)		
※えずこホール全館、はねっこアリーナ (研修室・会議室・剣道場)		
●全体参加者内訳		
住民創造グループ打ち合わせ会		13名
かえっこ説明会		2名
本 番	入場者	2,227名
	スタッフ (住民創造グループほかボランティア)	239名
<p>【概要】日ごろ劇場に足を運ぶことが少ない子どもたちに向けてさまざまなかえっこワークショップを同時展開するプログラムで、2008年度の第1回目から毎年1,500人以上で賑わう人気のイベントとなっている。プログラムの中心には、いらなくなったおもちゃを交換する「かえっこバザール」。来場した多くの親子連れは、平土間ホールにずらりと並べられたおもちゃを囲んで交流しながら楽しんだ。また、視聴覚コーナーでは、機材を使って手作り絵のスクリーン投影など視聴覚教材の魅力を広く地域の皆さんに知っていただく機会となった。さらに、アート体験として劇団コープス「ひつじ」の上演ほか、楽器演奏体験&ミニコンサート、ダンス体験、消防&救急救命体験、ニュースポーツや木材を使った自然体験、和太鼓体験、紙芝居や折り紙など、全館を使って盛りだくさんの体験コーナーで賑わった。</p>		<p>かえっこバザールを利用し、2000人規模の交流の場を生み出す企画であるが、ボランティア参加を中心とするスタッフの不足により運営面の強化が望まれる。</p> <p>また、市町村や地域との連携強化や固定化されつつある体験ワークショップに加え、新たなコンテンツの充実についても課題となっている。</p> <p>さらに、新型コロナの拡大の影響で、3密になりがちなかえっこバザールを使ったプログラムの運用とイベントのやり方についても根本的な見直しや検討が必要とされる。</p>

有識者による意見・評価	意見に対する対応等
<p>○えずこホールの事業は、すべてにおいて社会包摂的要素のある取り組みであると思う。</p> <p>○アウトリーチ事業は、対象人数が少ないと言う人もいるかもしれないが、少人数だからこそ効果が上がる場合も少なくない。むしろ内容と件数を意識して、今後も継続してほしい。</p> <p>○アーティストに有償でやっていただくことは大事なことだと思う。有償でない人がやろうとすると、生活する時間帯と合わないこともある。しっかりとした事業の柱になっていることが、重要であると思う。</p> <p>○住民さんも、職員も、事業や運営において破綻しなければよいので、変化を恐れず、むしろ変化し続けてほしい。</p>	<p>開館以来、取り組んできた事業とその質について高く評価いただけていることにスタッフ一同自信と誇りを刻み、今後も充実した事業の取り組みを行っていく。</p> <p>一方、コロナ禍におけるさまざまな影響や課題、社会における新たなニーズ、その他多くの社会問題へも目を向け、社会の変化にしっかりと対応しながら、事業の継続はもとより、新しい価値のある取り組みや革新に努めていく。</p>

3. 心の鑑賞事業

事業目的	音楽、演劇、異文化体験事業、幅広いジャンルの中から優れた作品、演目を厳選して開催する。異文化体験事業については地元の中学2年生の招待公演も実施。また、就学援助制度を受けている小中学生とその保護者を招待する「えずこサンタプロジェクト」を実施するほか、地場産品を素材とした飲食ブースを出店し、食文化体験もできる事業として開催する。
事業名	<p>① 炎のジプシー・プラス ファンファーレ・チョコカーア【中学生招待公演】</p> <p>② 炎のジプシー・プラス ファンファーレ・チョコカーア【一般公演】</p> <p>③ 東京成人演劇部 vol.1 「命、ギガ長ス」</p> <p>④ ウィーン=ベルリン ブラス・クインテット</p> <p>⑤ えずこプレミアムライブ 2019 夏木マリに小林幸子を+してごきげんコンサート</p> <p>⑥ 「虹のかけら～もう一人のジュディ」</p> <p>⑦ えずこ寄席 2020 「柳家さん喬 独演会」</p> <p>⑧ ケロボンズ ファミリーコンサート【共催事業】</p>

成 果	課 題								
<p>① 炎のジプシー・プラス ファンファーレ・チョコカーア</p> <p style="text-align: center;">【中学生招待公演】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>入場率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月2日(火)</td> <td>大ホール</td> <td>691名</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>大河原・村田・柴田3町の中学2年生全員の招待公演。前半は、プロモーション映像を見ながらファンファーレチョコカーアの地元、ルーマニアの小さな村についての話を聞いたり、異国の文化を学ぶ時間を設け、後半は演奏パフォーマンスで楽しんでいただくという2部構成。超絶アップテンポの演奏に会場は熱気に沸き、プログラム後半にはオールスタンディングの盛り上がりを見せた。世界にはさまざまな優れた文化や音楽があり、子どもたちにとって普段聞くことのない本物の音楽に触れる機会となった。</p>	開催日	会場	入場者数	入場率	7月2日(火)	大ホール	691名	—	<p>中学生招待事業は、毎年旬なものを提供しているが、作品やアーティストの選定については、その年によって招聘可能なものが異なり、趣向性も変わる。例年、異文化に触れる機会にしたいという基準で選定を試みているが、海外からの招聘は、年によって変わることから、選定も難しく、生徒や学校側の希望による調整などもできないことも課題としてあげられる。</p>
開催日	会場	入場者数	入場率						
7月2日(火)	大ホール	691名	—						

成 果				課 題												
<p>② 炎のジプシー・プラス ファンファーレ・チョコリニア【一般公演】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>入場率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月2日(火)</td> <td>大ホール</td> <td>492名</td> <td>89.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>人口400人というルーマニアの小さな寒村から世界に羽ばたいたジプシー・プラス、ファンファーレチョコリニア。 疾走感溢れる演奏は、一瞬で観客の心をとらえた。席を立って踊り出す観客も多数いるなど、世界を熱狂させる彼らの演奏に会場全体が酔いしれた。また、ハワイエでは地元飲食店とも提携し、地産地消を実施しているレストランコーナーも大賑わいであった。 さらに、関連事業として、出演者自身らによるドキュメンタリー映画「炎のジプシー・プラス」を公演に先立って上映会を開催した。</p>				開催日	会場	入場者数	入場率	7月2日(火)	大ホール	492名	89.8%	<p>海外からの招聘については、特にワールドミュージックのジャンルで開催する傾向が多いものの、招聘元そのものが減っている影響で、選定においても多くの選択肢がない状態にある。こうしたジャンルの開催は貴重な機会になりつつある。世界の窓とする施設のコンセプトをどのように担保できるのか、情報収集力などの更なる強化も課題とされる。</p>				
開催日	会場	入場者数	入場率													
7月2日(火)	大ホール	492名	89.8%													
<p>③ 東京成人演劇部 vol.1「命、ギガ長ス」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>入場率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月4日(日)14時～</td> <td>大ホール</td> <td>240名</td> <td>97.6%</td> </tr> <tr> <td>8月4日(日)18時～</td> <td>大ホール</td> <td>223名</td> <td>90.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>大人計画主宰の松尾スズキが活動30周年を記念し立ち上げた新プロジェクト「東京成人演劇部」の第1弾企画。 映画やドラマ、舞台で存在感を放つ女優の安藤玉恵による二人芝居。ニートを演じる松尾とその母を演じる安藤。社会問題を背景とするシリアスな設定にコミカルで笑いを散りばめた演出で会場を魅了。大ホールステージを使ったステージ・オン・ステージという特設設営への初の試みともなった。また、地元飲食店でキッチンカー(屋台)も出店し、来場者に食もお楽しみいただいた。なお、2回目の公演中、震度5弱の地震が発生し、中座するというトラブルにも見舞われたが、約15分間の安全確認後に無事再開することができた。多くの観客から感謝の声も聞かれるほど、出演者と観客の交感をより深める公演となった。</p>				開催日	会場	入場者数	入場率	8月4日(日)14時～	大ホール	240名	97.6%	8月4日(日)18時～	大ホール	223名	90.7%	<p>上質な演劇作品の上演は、作品性が重視される一方、出演するキャストの知名度によってチケット販売が大きく影響するため、特に大ホールを会場とする上演においては、収益バランスが優先になる傾向も見受けられ、質の担保をどのように確保していくか、事業費の確保なども課題とされる。</p>
開催日	会場	入場者数	入場率													
8月4日(日)14時～	大ホール	240名	97.6%													
8月4日(日)18時～	大ホール	223名	90.7%													
<p>④ ウィーン＝ベルリン ブラスクインテット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>入場率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月19日(木)</td> <td>大ホール</td> <td>584名</td> <td>72.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>世界最高峰にして世界2大オーケストラメンバーによる夢の競演。世界を魅了するプレイヤーたちのサウンドに会場は酔いしれた。日本語を使った挨拶やMCも観客との距離感を縮め、親しみを感じさせる雰囲気を生んだ。また、公演前に出演者全員による楽器クリニックを開催。地元の中高生などが参加し、本物の音楽を生む一流アーティストとの触れ合いは、心に深く刻まれるアート体験となった。さらに、地元のシェフに協力・連携し、地元食材を生かして作った料理を観客に提供。特設レストランコーナーとして定着も見られ、好評であった。</p>				開催日	会場	入場者数	入場率	9月19日(木)	大ホール	584名	72.8%	<p>クラシックのジャンルは集客そのものが難しく、ターゲットを絞って販売促進を行うことができるかなど、事業実施に向けた準備と団体割引や販売促進のための営業などのノウハウも重視される。継続的な事業実施においては、そうした要素を担当スタッフベースに繋いでいく必要があり、課題とされる。</p>				
開催日	会場	入場者数	入場率													
9月19日(木)	大ホール	584名	72.8%													

成 果	課 題														
<p>⑤ えぞこプレミアムライブ 2019 夏木マリに小林幸子を+してごきげんコンサート</p> <table border="1" data-bbox="161 309 916 383"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>入場率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月29日(火)</td> <td>大ホール</td> <td>616名</td> <td>85.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>えぞこホールだけのオリジナルライブ。女優、声優、アフレコ、ミュージシャンなど多彩な活動で注目を集める夏木マリをメインアーティストとして、歌謡界の女王 小林幸子をゲストに迎え、ロック、ジャズ、そして演歌の名曲まで、意外性に満ちたライブパフォーマンスを楽しんでいただいた。また二人が掛け合う楽しいおしゃべりはアットホームな雰囲気を出し、笑顔と笑いの絶えないステージとなった。観客の満足度も高く、再演を望む声も多く聞かれるなど、えぞこホールならではの企画に期待以上の評価を感じ取ることができるライブであった。</p>	開催日	会場	入場者数	入場率	10月29日(火)	大ホール	616名	85.1%	<p>独創性や独自性、さらに質の担保に加え、集客性を兼ねた事業という難しいバランスを位置づけたポピュラー音楽を軸とするライブコンサート。魅力を安定的に伝えるため、知名度の高いアーティストを柱にどのようなアーティストとコラボさせるかなど企画力が必要とされる事業。収益についても、キャパシティを熟知した収支バランスを求められる。</p>						
開催日	会場	入場者数	入場率												
10月29日(火)	大ホール	616名	85.1%												
<p>⑥ 虹のかけら～もうひとりのジュディ～</p> <table border="1" data-bbox="161 875 916 949"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>入場率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月12日(火)</td> <td>大ホール</td> <td>606名</td> <td>89.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>「オズの魔法使い」で世界のアイドルとなったミュージカルスター、ジュディ・ガーランド。その専属の代役であったもうひとりのジュディ、ジュディ・シルバーマンにスポットを当て、彼女の数奇な運命を朗読と歌・音楽で綴った作品。出演は、女優や声優として活躍する戸田恵子。構成・演出は三谷幸喜が担当するなど最強のタッグにより全国で注目を集めた。演劇的、コンサートの、あるいはそのどちらにも属さない作風に観客からもハイセンスな作品と評する声も多く聞かれた。さらに、食ブースでは地元で人気のカレー屋が出店。公演前にはそのスパイシーな味覚を堪能いただき、奥行きのあるサービスと合わせて楽しんでいただいた。</p>	開催日	会場	入場者数	入場率	11月12日(火)	大ホール	606名	89.4%	<p>今年度は演劇系の公演が多いとされる年度となったが、ライブと演劇を融合させた本作品は、例年のラインナップとしても稀有な舞台作品となった。全体の公演事業のバランスとして、作品性や出演者の存在感にも恵まれた作品は、今後上演に向けた情報収集力が大きなカギとなる。人的なネットワークを全国的にキープしていくことが重視される</p>						
開催日	会場	入場者数	入場率												
11月12日(火)	大ホール	606名	89.4%												
<p>⑦ えぞこ寄席 2020 柳家さん番 独演会</p> <table border="1" data-bbox="161 1503 946 1648"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>入場者数</th> <th>入場率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2月15日(土)14時～</td> <td rowspan="3">平土間 ホール</td> <td>201名</td> <td>90.5%</td> </tr> <tr> <td>2月16日(土)18時～</td> <td>201名</td> <td>90.5%</td> </tr> <tr> <td>2月16日(日)14時～</td> <td>196名</td> <td>88.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>寄席ならではの距離感、臨場感を演出し、どの席からでも鑑賞しやすい空間づくりにこだわるえぞこ寄席。また、旬で脂がのった噺家を招聘するというコンセプトにもこだわり、10年以上継続して実施してきた。いまやそうした趣旨が浸透し、前売り券が売り切れるほどの人気の事業となったこともあり、今回は初めて3回公演を実施した。さん番師匠の名人芸に引き込まれる観客。どっと笑いで溢れる会場はもはや演芸場そのものであった。</p>	開催日	会場	入場者数	入場率	2月15日(土)14時～	平土間 ホール	201名	90.5%	2月16日(土)18時～	201名	90.5%	2月16日(日)14時～	196名	88.3%	<p>えぞこ寄席は、長年に亘り演芸場をイメージした会場の設え、噺家と観客との距離感、噺家や作品のコーディネートと管理の上に成り立つオリジナルブランドの事業。継続性に加え、事業コンセプトをしっかりと維持し、えぞこ寄席ファンを意識した取り組みが重要である。</p>
開催日	会場	入場者数	入場率												
2月15日(土)14時～	平土間 ホール	201名	90.5%												
2月16日(土)18時～		201名	90.5%												
2月16日(日)14時～		196名	88.3%												

⑧ ケロポンズ ファミリーコンサート				メディアとの共催事業は、都市圏の施設と比べ、開催に向けては条件など不利な要素が多く、これまでも開催の機会に恵まない状況にある。集客を含む収益性や地域での開催メリットを共催先と共有する努力をしていくことが直近課題とし、施設からも積極的なアプローチをすることも重要と考えている。
開催日	会場	入場者数	入場率	
2月1日(土)	大ホール	651名	85%	
<p>地元 TV 放送局との共催事業。主催事業で開催することが少ないジャンルへの取り組み、日ごろの客層の異なる方々にアプローチできる事業として期待される。これまでテレビ局などとの繋がりが作れなかったことから、関係性の構築を目指す試みも踏まえて実施された。結果的に、集客面での課題があったものの、共催先からは今後繋がる事業になったとの認識もいただくことができた。さらに、ご来場いただいた多くの親子連れからも好評をいただき、今後の取り組みについても期待が膨らんでいる。</p>				
有識者による意見・評価				意見に対する対応等
<p>○職員の世代交代、お金の問題は逃げられない課題だと思う。 ○若手職員への研修の充実を図り、補助金などを活用しながらも、基盤となる自己財源の確保についてもしっかりと行ってほしい。</p>				<p>人材育成は長期的な課題であり、職場の環境づくりにも力を入れていく。 財政面では、補助金や助成金などの情報収集にもより力を入れ、さまざまな形でそれらを運用可能とする組織づくり体制づくりを目指す。</p>

4. その他の(社会包摂型)事業

<p>■えぞこサンプラプロジェクト</p> <p>【概要】 地元の企業や団体より協賛金をいただきながら、就学援助制度を受けられているご家族の皆様を鑑賞事業へ無料でご招待する「えぞこサンプラプロジェクト」。今年で3年目を迎え、多くの皆様からご協賛いただいた。今年度は7事業25組67名の皆様にご鑑賞いただき、サンタさんへ多くの喜びと感謝のことばが贈られた。</p> <p>【2019年度ご協賛企業】 大河原ロータリークラブ 柴田ロータリークラブ 村田ロータリークラブ (株)ヒルズ (株)津田印刷 墓石のやまいし 長照院 (株)五光製作所 (株)新日電業商会 (有)大久保庭園 (株)八重樫工務店、(株)タカヤ 太平ビルサービス(株)仙南営業所 (敬称略・順不同)</p>		<p>協賛金を基礎とした事業であり、協賛先となる企業への営業を含む新規の協賛先の開拓が大きな課題。社会問題を可視化し、教育現場や地域の民間企業を含む意識の改革も課題とされる。</p>
<p>■職場体験受け入れ</p> <p>大河原中学校(6名×2日)、船岡中学校(8名×3日)、槻木中学校(6名×2日)、村田第二中学校(3名×2日)、白石工業高校(5名×3日)、柴田農林高校(2名×3日)、村田高校(2名×2日)、静岡文化芸術大学(1名×14日) 計8校、33名</p>		<p>受け入れ人数によりプログラムの変化が求められ、実施当時の出勤シフトや貸館などに合わせ、当日のプログラム等コンテンツが左右されるといった課題がある。</p>
有識者による意見・評価		意見に対する対応等
<p>○こうした取り組みは全体的に、高く評価している。マイノリティに手を差し伸べるサンプラプロジェクトについても、今後より積極的に実施していただきたい。</p>		<p>社会包摂型事業の取り組みについては、今後も地域の問題をさらに分析しながら、どのような取り組みができるのか、検討、検証を図っていく。</p>